

2025年5月20日
第145号
(Web版第39号)

日本犯罪社会学会ニュース

発行

日本犯罪社会学会
JAPANESE ASSOCIATION OF
SOCIOLOGICAL CRIMINOLOGY

- I 大会実行委員長挨拶
- II 第52回(2025年度)大会 自由報告募集
- III 第52回(2025年度)大会について
- IV 第52回(2025年度)大会の託児サービスについて
- V 第4回講座「犯罪学」の開催について
- VI 学会事務局の移転について
- VII 各部・委員会報告

※第107号からニューズレターはWebのみで発行しております。

※会員動向につきましては、年間1回、会員のみに詳細版を郵送いたします。

I 大会実行委員長挨拶

四方 光（中央大学）

このたび、日本犯罪社会学会第 52 回大会（2025 年 10 月 11 日～12 日）を中央大学茗荷谷キャンパスにおいて開催させていただくことになりました。中央大学での開催は、2007 年の第 33 回大会を多摩キャンパスにて開催して以来 19 年ぶりとなります。

中央大学法学部は、1978 年多摩キャンパス開校時に駿河台キャンパスから移転しましたが、2023 年 4 月に現在の茗荷谷キャンパスに移転しました。大会開催時はキャンパス開校後 2 年半であり、まだご来校いただいていない方も多いかと思いますので、新しい校舎を披露させていただく良い機会を頂戴したと喜んでおります。

茗荷谷キャンパスは、東京メトロ丸ノ内線で池袋駅から 2 駅、東京駅から 6 駅の位置にある茗荷谷駅から西へ徒歩 1 分の場所にあります。近隣にはお茶の水女子大学、拓殖大学をはじめ多数の学校がある割には周辺の飲食店の数は必ずしも多くはありませんが、昼食難民になることはないと思います。喫煙場所はキャンパス内にはなく、周辺にもほとんどありませんので、愛煙家の方にはキツイ場所かもしれません。

なお大会前日の午後にはプレ行事としてミニシンポジウムを企画しております。内容がもう少し固まりましたら、別途ご案内をさせていただければと考えております。

皆さまのご来校を心よりお待ちしております。

II 第 52 回（2025 年度）大会 自由報告募集

研究委員会では、会員の皆さまの自由報告を募集します。

●申込方法：Google フォームにて、以下の項目をお知らせください。

メールアドレス 申込者氏名（所属） 共同研究者氏名（所属） 上記それぞれについて当日報告をするか否か 配布資料アップロード用 Google アカウント 報告タイトル プロジェクトの要否 大会プログラムに掲載する報告概要原稿（150 字以上 200 字以内） （他学会等で類似の報告がなされている（予定も含む）場合）その詳細 ※大学に所属のある場合、教員等は「〇〇大学」、大学院生は「〇〇大学大学院」と記載してください。
--

●申込先 URL：<https://forms.gle/cofwBov2DdRVf77V7>

●申込期限：2025 年 6 月 1 日（日）必着

●問い合わせ先：日本犯罪社会学会研究委員会（担当委員：大谷 彬矩）

電子メールアドレス：hansha2025kenkyu@gmail.com

●連絡事項：

*現時点で大会はインパーソンでの開催を予定しています。

- *自由報告は1名でもグループでも申し込めます。
- *申込者と報告者は会員に限ります。共同研究者は非会員でも構いませんが、当日の登壇はできません。
- *1件の申込みにつき1つの報告となります。
- *会員1名につき、申込み及び報告は1件までとなります。ただし、他の報告者の共同研究者となることは妨げません。
- *報告時間は質疑応答を含めて1件30分以内（このうち報告時間は20～25分）となります。共同研究者がいる場合でも、報告時間は変わりませんのでご注意ください。
- *申込みの時点で大会プログラムに掲載する報告概要の原稿（150字以上200字以内）をご提出ください。原稿は、原則として修正できません。
- *大会プログラムに掲載された報告概要の著作権は、日本犯罪社会学会に帰属します。
- *プロジェクタの使用を希望される場合は、その旨を申込みの際にお知らせください。
なお、大会当日に報告者ご自身でご持参いただく機材（PC、USBメモリ等）については、使用会場の設備が決定次第、研究委員会からご連絡します。
- *申込が受理されると自動的にフォームからの自動返信メールが届きます。自動返信メールが届かない場合は、申込者のメールアドレスが誤っている可能性がありますので、再度お申込みください。それでも届かない場合は、メールでお問合せください。メールは第52回大会窓口 [hansha2025kenkyu@gmail.com]と学会事務局 [jasc-post@as.bunken.co.jp]の両方に送信してください。
- *自由報告実施の日時や会場の指定はできません。
- *報告タイトルや報告者（連名の場合の順番を含む）の変更は一切できません。
- *大会以前に、他学会等で類似の報告がなされている（予定も含む）場合には、詳細の申告をお願いします。
- *今大会では、レジュメ等の資料は原則として電子化を実施します。報告者はご自身のGoogleアカウントから、資料をアップロードしていただきます。詳細は後日、研究委員会より第52回大会窓口メールにてご案内しますので、必ずご確認をお願いします。

●自由報告でお守りいただきたいこと：

- *自由報告会場には、セッション開始の20分前までに必ずお入りいただき、司会者へお声がけください。やむをえず遅刻・欠席する場合は、必ず第52回大会窓口のメールアドレス宛にご連絡ください。
- *自由報告時にプロジェクタをご使用になられる場合、必ずセッション開始時刻前に、動作確認をお願いします。
- *セッションの時間中に自由報告会場から離れることは、原則としてできません。無断で離れた場合には「報告が成立した」と認めない場合があります。
- *自由報告者の方には、大会前日までに、第52回大会窓口のメールアドレス宛に大会報告要旨集の原稿をご提出いただきます。詳細は後日、研究委員会よりご案内しますので、第52回大会窓口からのメールを必ずご確認ください。

III 第52回（2025年度）大会について

第52回大会は2025年10月11日（土）から12日（日）に、中央大学茗荷谷キャンパス（東京都文京区）で開催されます。現在、予定している事項につきまして、以下の通りご報告致します。

1 タイムテーブル

10月11日(土)

9:30～	受付開始
10:00～12:00	自由報告
12:00～13:30	昼食
13:30～16:30	テーマセッション
16:45～17:45	総会
18:00～19:30	懇親会

10月12日(日)

9:00～	受付開始
9:30～12:30	テーマセッション
12:30～14:00	昼食
14:00～17:30	シンポジウム
17:30～17:40	閉会式

2 企画内容について

現在のところ予定しているシンポジウムの概要、テーマセッションのテーマ・申込者等は次の通りです。

(1) シンポジウム

「情報公開に基づく死刑執行についての論点」

2020年代に入って、日本の死刑をめぐる動向が活発化している。たとえば、大阪における死刑関連の4つの行政訴訟・国賠請求事件、「日本の死刑制度について考える懇話会」による報告書のとりまとめ、そして袴田巖氏の再審無罪判決の確定などが主な動きとして挙げられる。こうした状況下において、死刑について改めて議論する機運が高まっている。

死刑についての議論はこれまで膨大に行なわれてきた。たとえば、「日本の死刑制度について考える懇話会」で座長を務めた井田良は、死刑存廃論を批判的に検討する論考のなかで、死刑の一般予防効果、「被害感情」、誤判可能性に焦点を当てて整理を行なっている。ただ、膨大に議論されてきた論点がある一方で、なおざりにされがちな論点もあるとして、井田は——死刑存廃に直接関係するわけではないがと断ったうえで——死刑の運用の問題、具体的には死刑適用基準の問題と死刑執行方法の問題を挙げている(井田 2022)。

2025年現在、日本の死刑執行停止は続いており、その期間は1000日を超えることが予想されている。死刑執行停止の要因はいくつか考えられるが、そのうちのひとつに、死刑執行の当日告知の是非についての裁判が続いているなど、死刑執行をどのように運用していくべきかについての方針が揺れ動いている実情もあると考えられる。こうした死刑執行の運用の現状があるにもかかわらず、死刑存廃の議論に比して、死刑執行についての議論は、それほど深められていない。議論が深まらない理由のひとつに死刑執行についての情報が極端に不足していることが挙げられる。そのことはこれまでの研究でも指摘されてきた。だが、死刑執行についてのどのような情報が足りていないのか、死刑執行についての情報が開示された場合、どのような議論が可能となるのかといったことは、必ずしも明らかになっているわけではない。それゆえ、死刑存置論、死刑廃止論の双方の論者にとって、死刑執行についての情報公開の必要性は低かったのではないかと考えられる。

そこで、本シンポジウムでは、死刑執行に焦点を当てて、なぜ死刑執行についての情報を公開する必要があるのか、どのような情報を公開する必要があるのか、情報が公開されるとどういった議論が可能になるのかといったことを整理、検討することを目的としたい。(参考文献) 井田良、

2022, 「死刑制度の存廃をめぐる——議論の質を高めるために」大谷實・井田良・松原芳博・福島至・渡邊一弘・本庄武・葛野尋之・椎橋隆幸『死刑制度論のいま——基礎理論と情勢の8つの洞察』判例時報社, 13-33.

(2) 公募企画テーマセッション

11日(土) 13:30~16:30

テーマセッション A

*タイトル: 犯情と一般情状の関係性について～一般情状は「調整要素」に過ぎないのか～
申込者: 矢作 由美子 (中央大学)

テーマセッション B

*タイトル: 求められる当事者語りについて再考する
申込者: 市川 岳仁 (三重ダルク/立命館大学大学院)

テーマセッション C

*タイトル: 警察官の市民接触行動の規定要因とインパクトに関する縦断的研究—第二波調査の分析—
申込者: 宮澤 節生 (龍谷大学・神戸大学)

テーマセッション D

*タイトル: 刑務所における高等教育—その意義と役割
申込者: 後藤 弘子 (千葉大学)

12日(日) 9:30~12:30

テーマセッション E

*タイトル: 深刻化するサイバー犯罪の現状と対策
申込者: 四方 光 (中央大学)

テーマセッション F

*タイトル: 刑務官の指導・処遇技術の理論化を目指して—日本における刑務官研究の発展に向けて—
申込者: 仲野 由佳理 (日本大学)

テーマセッション G

*タイトル: 批判的犯罪学の実践: アカデミック・アクティビズムという営み
申込者: 周 筱 (筑波大学)

テーマセッション H

*タイトル: 第4回国際自己申告非行調査の予備的分析
申込者: 上田 光明 (日本大学)

第 36 回大会より、それまでのミニシンポジウムとラウンドテーブル・ディスカッションの区分を廃し、統一して「テーマセッション」として開催しております。

3 電子化の推進について

印刷版のプログラムは発行しません。プログラムの電子版は、9月中旬ごろ、学会ウェブサイトにて公開する予定です。

また、本大会では、シンポジウムを含むすべての企画において、配付資料の電子化（オンライン配付）を実施します。参加者ご自身で、研究委員会の定める Google Drive から資料をダウンロードしていただきます（ダウンロードする際、Google アカウントは不要です）。大会当日、Wi-Fi 環境を用意する予定です。詳細は、ニューズレター次号及び学会ウェブサイトでお知らせします。

IV 第 52 回（2025 年度）大会の託児サービスについて

日本犯罪社会学会では、子育て世代の会員の皆様の研究活動のさらなる活性化をはかることを目的として第 52 回大会においても「大会時における託児サービス」を実施します。託児サービスの利用申請は、学会ウェブサイトから Google フォームを通じて募集いたします。フォームの掲示および詳しい概要の公表については、8～9月頃を予定しておりますので、その時期発行の次号のニューズレターと学会ウェブサイトをご確認いただきますようお願いいたします。

V 第 4 回講座「犯罪学」の開催について

第 4 回講座「犯罪学」を下記の要領で実施いたします。奮ってご参加ください。

< 第 4 回講座「犯罪学」実施要領 >

- ・日 程：2025 年 9 月 13 日（土）、14 日（日）、15 日（月・祝）
- ・会 場：立教大学池袋キャンパス 11 号館 3 階 A304 教室
- ・方 式：対面開催
- ・対 象：「犯罪学」に興味のある学生・実務家など
 - *受講者には修了証を発行いたします。
 - *日本犯罪社会学会の会員に関わらず、どなたでもご参加いただけます。
- ・定 員：50 名（先着順・要申込【Peatix による】）
- ・料 金：一般 15,000 円、学生 10,000 円
 - *お客様の都合によるチケット購入後の払い戻しは、一切できません。
 - *領収書の発行はしていません。

<プログラム>

	10:00-11:20	12:30-13:50	14:00-15:20	15:30-16:50
9/13 (土)	01 イントロダクション	02 犯罪対応の制度	03 施設内処遇・ 社会内処遇の諸問題	04 犯罪学の研究方法
	浜井 浩一	松原 英世	小西 暁和	岡邊 健
9/14 (日)	05 サブカルチャー・ 学習理論	06 社会的構築主義・ ラベリング理論	07 刑事司法と福祉	08 アートと刑事司法
	齊藤 知範	山本 功	水藤 昌彦	風間 勇助
9/15 (月・祝)	09 ナラティブ犯罪学	10 コントロール理論	11 離脱・ ライフコース理論	12 修復的司法の 現代的意義
	仲野 由佳理	上田 光明	津富 宏	森久 智江

上段：科目 下段：講師（敬称略）

申込はこちらから ☞ <https://criminologysem4.peatix.com/>

*学生の方は割引コード「5931」と入力してください（当日は学生証をご持参ください）。

主 催：日本犯罪社会学会

問い合わせ先：日本犯罪社会学会 企画調整委員会

[E-mail] criminologysem.kikaku@gmail.com

VI 学会事務局の移転について

第51回大会総会においてご承認いただいた会則第24条の改正に基づき、現在、大阪商業大学から国際文献社への事務局の移転にむけた作業を進めております。新事務局の住所、連絡先およびE-mailは以下の通りとなっております。移転に伴い会員のみなさまにはご不便をおかけすることになるかと思いますが、何卒ご了承くださいませとさいわいです。

【新事務局】

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

株式会社国際文献社内

T E L : 03(6824)9370

F A X : 03(5227)8631

E-mail : jasc-post@as.bunken.co.jp

VII 各部・委員会報告

1 研究委員会

(1) 前号ニューズレターにて、第 52 回大会におけるテーマセッションの企画を公募致しましたところ、8 件のご応募をいただきました。来年度大会以降も、企画の公募を実施する予定です。会員の皆様からのご応募をお待ちしております。

(2) 第 52 回大会は、インパーソンでの開催を予定しています。ただし新型コロナウイルスの状況によっては、一部または全部をオンラインに切り替える可能性があります。プログラムの電子版は 9 月中旬頃に公開する予定です。また、大会に関する今後の情報は、学会ホームページでお知らせ致します。

(3) 第 52 回大会では、シンポジウム、テーマセッション、自由報告において報告者が資料を配る場合には、オンラインで行うことを必須とします（オンラインに加えて紙媒体で資料を配ることは妨げません）。総会の資料はオンラインで配布し、紙媒体では配布しません。

(4) 第 52 回大会では、託児サービスを実施します。次号のニューズレターをご覧ください。

2 編集委員会

現在、『犯罪社会学研究』50 号発行に向けた準備を進めております。

次々号『犯罪社会学研究』51 号から自由論文・研究ノートの投稿締切を変更しています。51 号の投稿締切は、2026 年 1 月 31 日消印有効です。

学会ホームページおよび『犯罪社会学研究』に記載されている投稿規程に従って、下記住所及びメールアドレス宛にご送付ください。

機関誌『犯罪社会学研究』では、自由論文・研究ノートの投稿に際して、学会ホームページ「機関誌への投稿規定」にある「投稿原稿添付書・投稿チェックリスト」を投稿原稿とともに提出いただいております。これらは、提出する前に執筆者が投稿する原稿が本機関誌の投稿規定に従っているかどうかを最終確認していただくものであります。投稿する前に、投稿チェックリストを使いながら、再度、原稿と投稿規定を照らし合わせて、投稿規定に従っているかどうかをご確認ください。

なお、投稿に関して、特別な事情のある方は、必ず事前に編集委員会までご相談下さい。

また、投稿は常時受け付けております。会員の皆様のご投稿をお待ちしております。本誌が犯罪社会学の自由な学術フォーラムとなることを期待しています。

<自由論文・研究ノートの送付方法と送付先>

自由論文・研究ノートの投稿に際しては、次の郵便、宅配便貨物または信書便等（以下「郵便等」）による送付とメールによる送信の両方を必ず行ってください。

【郵便等による送付】

以下の住所宛に投稿原稿 1 部を郵便等で送付してください。締切は、郵便等での送付につき 2026 年 1 月 31 日消印有効といたします。なお、郵便等での送付は、必ず追跡できる方法によってください。

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-10 ハッ橋ビル 7 階 現代人文社気付
日本犯罪社会学会編集委員会

【メールによる送付】

メールでの送信は、以下の要領で、PDF ファイルを電子メールに添付し、2026 年 1 月 31 日 23 時 59 分までに、送信先のアドレスに送付してください。

メールの件名：犯罪社会学研究 51 号投稿_（半角アンダーバー）投稿者氏名

例：犯罪社会学研究 51 号投稿_犯社太郎

ファイル名：犯罪社会学研究投稿_（半角アンダーバー）日付

例：犯罪社会学研究投稿_20260131.pdf

送信先：hansha@genjin.jp

*投稿にあたっては、投稿時に日本犯罪社会学会の会員である必要があります。投稿者は（共著論文の場合は全員について）、遅くとも投稿締切日までに学会事務局に入会申込書を送達していなければなりません（同日必着）。この要件を満たさない場合は、論文を受理いたしません。現在非会員で、今後投稿を予定されている方ご注意ください。

*編集委員会では、自由投稿論文の英文校閲を行っておりません。そのため、自由投稿論文の英文要旨については、投稿時点で筆者の責任においてしかるべき方法で英文校閲をおこなっていることを投稿の要件といたします。なお、査読過程で英文要旨の修正を求めることがありますので、あらかじめご了承ください。

*海外から投稿する場合は、必ず事前に編集委員会までご相談下さい。

*研究ノートでの審査をご希望の場合は、論文の表紙か別紙に明記していただくか、編集委員会に事前にご連絡ください。

学会誌編集業務に関するご意見・ご質問につきましては、下記までお寄せください。

<編集委員会事務局> hanshaedit18@gmail.com

3 企画調整委員会

【募集】機関誌第 50 号への広告の掲載について

本学会機関誌『犯罪社会学研究』第 50 号への掲載広告を募集いたします。広告の掲載を希望される出版社さま、団体さまは、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、新規にお問い合わせをいただいた場合には、掲載の可否について審査をさせていただく場合がございますことをご了承ください。

記

- (1) 掲載雑誌 「犯罪社会学研究」 ISSN 0386-460X
第 50 号（2025 年 10 月刊行予定）
- (2) 広告掲載料 B5 版 半頁分 【天地 105mm × 左右 140mm】
(モノクロ印刷) 15,000 円
同 一頁分 【天地 215mm × 左右 140mm】
(モノクロ印刷) 20,000 円
- (3) お問い合わせ・原稿送付先
山梨 光貴（企画調整委員） <mailto:d8y.tube.drea3@gmail.com>

4 渉外広報委員会

(1) 研究会助成について

渉外広報委員会では、犯罪社会学に関する研究会に対し、助成を行っております。

年度ごとに 2 件、1 件あたりの助成金は 40,000 円です。詳しくは学会ホームページをご参照の上、奮ってご応募ください。

*本助成のほかに、大学等から別途の助成を受けている場合は、本助成の申請をすることができません。あらかじめご了承ください。

(2) GEAHSS からの報告事項です。加盟している学会のジェンダー比率調査結果のデータが閲覧専用のスプレッドシートでご確認いただけます。

調査結果データ：<https://docs.google.com/spreadsheets/d/15u6E3LYYZZhlyCqnUuN-jg8AHp-aj4nL/edit?usp=sharing&oid=109583934052296496453&rtpof=true&sd=true>

5 本部事務局会計部

会費納入のお願い

2025年度の会費納入のお願いを発送いたしました。郵便振込にて会費を納入されるようお願い申し上げます。過年度未納分のある方は、古い年度分から充当させていただきます。金額、口座番号および口座名は下記の通りです。

また、領収書をご希望の方は払込票の通信欄にその旨を記入して下さい。

通常会員 8,000 円

院生会員 6,000 円 (大学院に在籍し、かつ常勤の職を有しない会員)

国外会員 7,000 円 (国外に在住し、かつ国内に連絡先を有しない会員)

郵便振替口座 00950-2-148284

加入者名 日本犯罪社会学会

会費を3年未納となりますと年度末で退会扱いとなります。滞納されていて会員の資格についてご確認なされたい方、また退会をお考えの方は、その旨を事務局まで御一報下さい。

なお、銀行振込や小切手での会費の支払いは受け付けておりませんのでご注意ください。

6 本部事務局庶務部

(1) 会員数(2025年4月19日現在)

一般会員 410名、海外会員 2名、名誉会員 16名、終身会員 4名、特別会員 2団体、合計 434名

(2) 献本 (2025年1月11日～2025年4月18日)

- ・法務総合研究所『令和6年版犯罪白書—女性犯罪者の実態と処遇—』
- ・龍谷大学矯正・保護総合センター編『龍谷大学矯正・保護総合センター研究年報』2024第14号
- ・龍谷大学矯正・保護課程委員会編『矯正講座』第44号(2024年)
- ・ロバート・J. サンプソン, ジョン・H. ラウブ『犯罪へ至る道, 離れる道—非行少年の人生』
- ・科学警察研究所『科学警察研究所報告』第73巻第1・2号

※個人情報保護のため、ニューズレターの記載は人数のみとします。会員各位には、年間1回、会員動向の詳細版を郵送いたします。

お願い

転勤等で所属や連絡先を変更された場合は、学会事務局まで速やかにご連絡下さい。事務局では、会員の皆様からのご意見、ご要望、インフォメーションなど随時承っております。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5アカデミーセンター 株式会社国際文献社内

T E L : 03(6824)9370 FAX : 03(5227)8631

E-mail : jasc-post@as.bunken.co.jp

*お問い合わせ・ご連絡は、なるべくメールでお願いいたします。
